

第4章

バリアフリー化の 現状と課題

4-1 まち歩き点検調査の概要

4-2 まち歩き点検の結果を踏まえた今後の課題

第4章 バリアフリー化の現状と課題

4-1 まち歩き点検調査の概要

バリアフリーに関する課題を把握することを目的に、対象エリアの一部を実際に歩いて点検する「まち歩き点検調査」を実施しました。

各地区とも、糸魚川市移動等円滑化促進方針推進協議会の構成組織の代表者にご参加いただいたうえでまち歩き点検を行い、その後意見交換を実施しました。

地区名	開催日時
1 糸魚川駅周辺地区	令和2年8月6日（木） 9：30～12：00
2 能生駅北側周辺地区	令和3年7月2日（金） 13：20～16：30
3 青海駅周辺地区	
4 青海（須沢）周辺地区	
5 押上新駅周辺地区	

■まち歩き点検の参加者

糸魚川市移動等円滑化促進方針推進協議会委員、障がい者団体会員、保育園・幼稚園職員、事務局 ほか

■まち歩き点検調査の様子



4-1-1 糸魚川駅周辺地区

(1) 駅北コース



※) 事前状況調査結果を参考に、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（郵便局、金融機関、医療機関等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■主な指摘事項（調査結果の詳細は資料編に掲載）

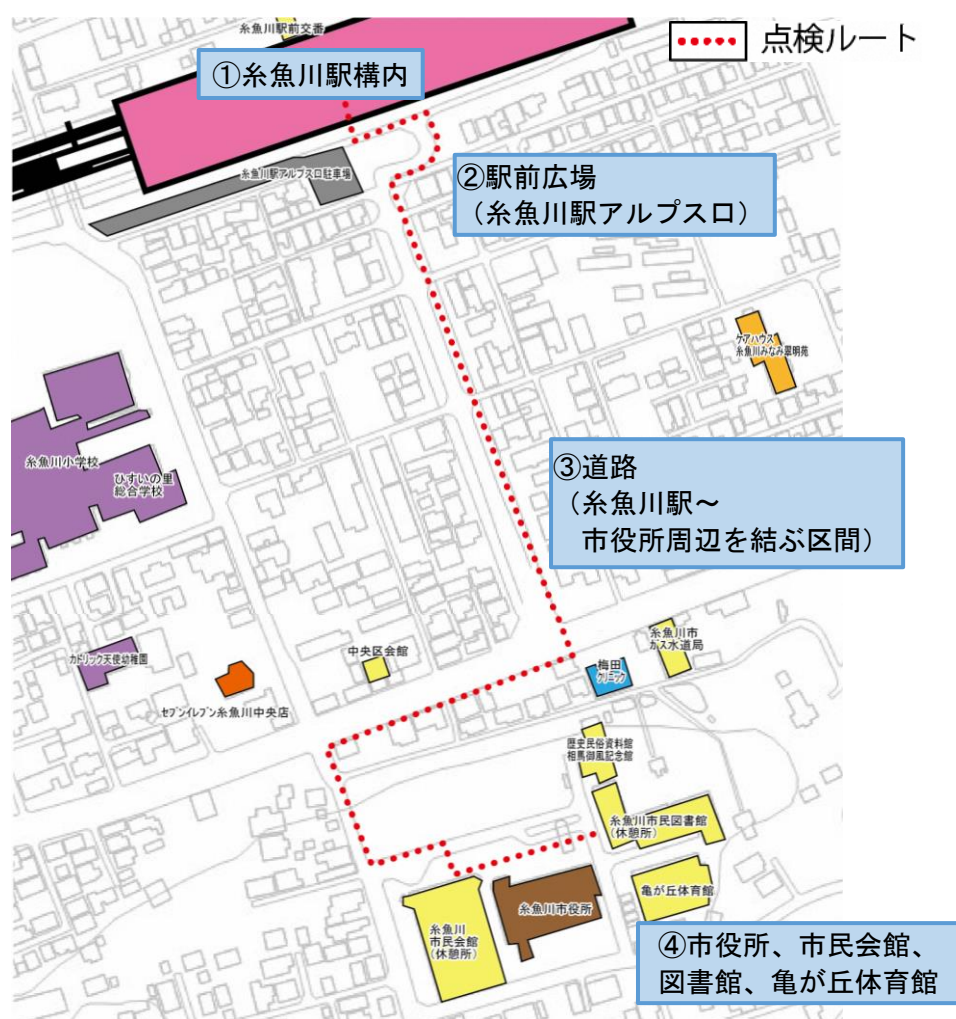
①駅前広場（糸魚川駅日本海口）

- ・ 出入口の案内看板が日本海側の眺望を妨げている。（案内看板）
- ・ ノンステップバスは、雪国では積雪の問題で導入が難しい面がある。運行に問題がないような除雪ができれば導入の可能性も考えられる。（バス車両）

②道路（糸魚川駅～糸魚川郵便局～駅前通り～本町通り～広小路通り～中央通り）

- ・ 側溝用の蓋、グレーチング蓋の隙間が大きいので、白杖が引っかかって危険。（歩道）
- ・ マンホールの蓋による段差が生じている。（歩道）
- ・ スロープの点字ブロックが交差点のみで、全部あると望ましい。（郵便局アプローチ）
- ・ 点字ブロックが劣化し、すり減っている。
- ・ 工事中の三角コーンが、点字ブロック上に置かれている。

(2) 駅南コース



※) 観光やビジネス等で、初めて当市に来られた高齢者・障がい者の方の動線を想定し、駅舎からアルプス口バス停、市役所、市民会館に至るルートを事務局で決定（来街者動線）。

■主な指摘事項（調査結果の詳細は資料編に掲載）

①糸魚川駅構内

- ・観光案内所入口前や改札口までの点字ブロック上に障害物が置かれている。
- ・トイレの入口までの点字ブロックが、中まで続いているとよい。また音声案内があるとよい。（トイレ）
- ・列車時刻の遅れなどのアナウンスがあるが、聴覚障がいの方向けに、文字電光掲示板があるとよい。（観光案内所）

②駅前広場（糸魚川駅アルプス口）

- ・タクシー乗り場の誘導点字ブロックが、バス乗り場の名残で3か所ありわかりにくい。

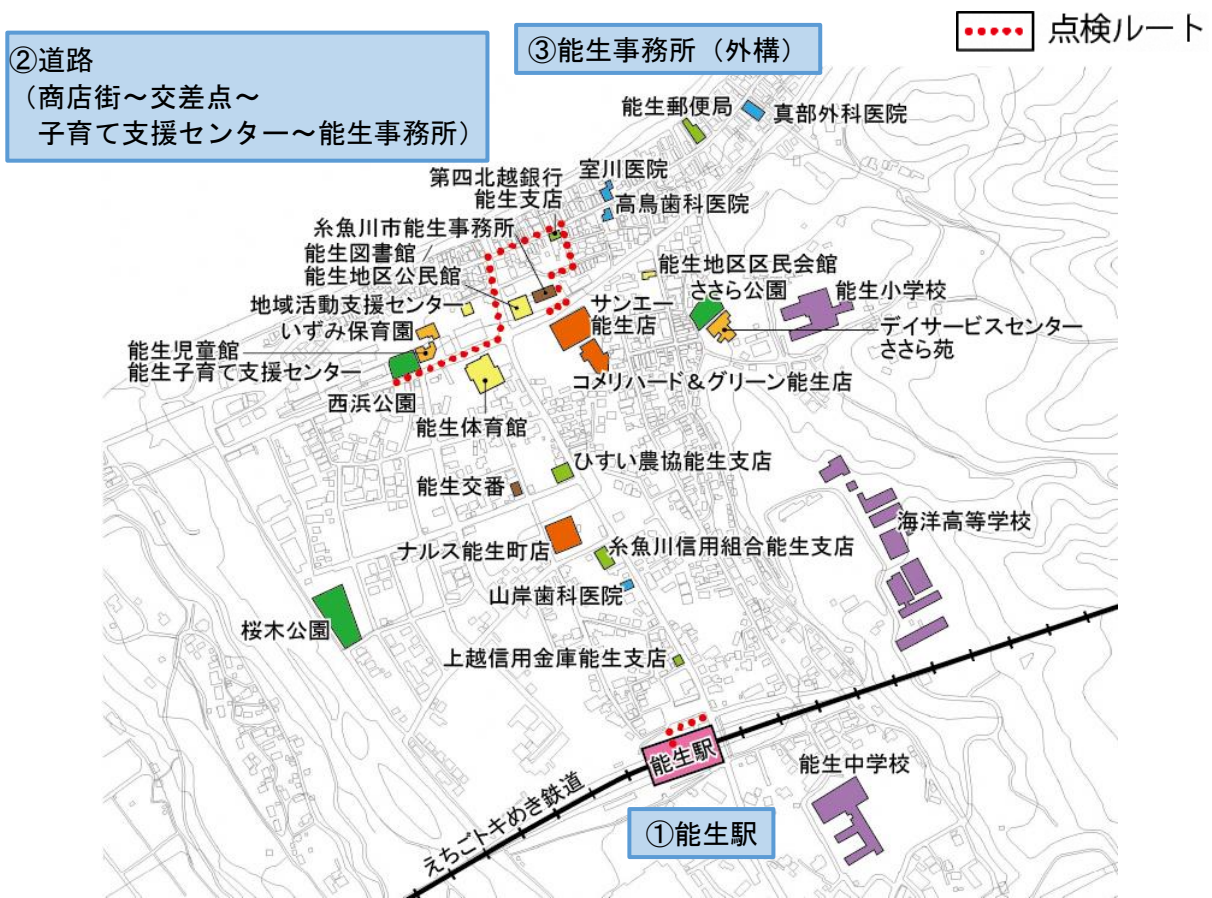
③道路（糸魚川駅～市役所周辺）

- ・点字ブロックがずれていたり、警告ブロックの突起がつぶれていたりする箇所がある。
- ・信号機の青点灯時間が短く、障がい者や高齢者の方は渡りきれぬか心配。（中央大通線）

④市役所、市民会館、図書館、亀が丘体育館

- ・（市の施設には）障がい者の方が車を停車する場所に屋根があると、雨天時等に助かる。
- ・誘導ブロック、警告ブロックともに老朽化している。

4-1-2 能生駅北側周辺地区



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設(金融機関、医療機関、商業施設等)を中心としてルートを設定(市内生活者動線)。

■主な指摘事項 (調査結果の詳細は資料編に掲載)

①能生駅

- ・ 駅舎の出入口は、階段となっておりスロープがない。(通路)
- ・ 構内は、十分な通路幅があるものの点字ブロックがない。(通路)
- ・ 男女ともに和式トイレで、多目的トイレや洋式トイレは設置されていない。また、通路に自動販売機が設置されており幅が狭くなっている。(トイレ)
- ・ 券売機はタッチパネル式となっており、画面上に点字表示ができないため扱いづらい。
- ・ 構内外の案内板がない。(トイレ、駅前広場)
- ・ 駅舎出入口の階段を降りるとすぐに道路になっており、安全带等がない。(駅前広場)

②道路(商店街～交差点～子育て支援センター～能生事務所)

- ・ 側溝用のグレーチング蓋の隙間が大きいため、白杖が引っかかる。
- ・ 商店街には点字ブロックがない。また、路側帯も狭く、路上駐車もみられる。
- ・ 子育て支援センター(児童館)前の横断歩道に点字ブロックがない

③能生事務所、能生生涯学習センター

- ・ 生涯学習センターまではあるが、能生事務所までの点字ブロックがない。
- ・ 身障者用駐車場に屋根がないため、降雪時等の利用に困る。

4-1-3 青海駅周辺地区



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを設定（市内生活者動線）。

■主な指摘事項（調査結果の詳細は資料編に掲載）

①青海駅～駅前広場

- ・手すりが途中で途切れている。（階段）
- ・駅舎構内及び駅前広場の歩道から駅舎出入口への点字ブロックによる誘導がない。
- ・駐車場の車を降りるところに隙間の大きいグレーチングがあり、白杖が引っかかるリスクがある。

②青海総合文化会館周辺

- ・敷地内通路において根上がりによる段差が発生している。
- ・青海総合文化会館からバス停までの点字ブロックによる誘導がない。
- ・施設内では、トイレまでの案内がない（点字・音声）。
- ・青海総合文化会館利用者用の身障者用駐車場の台数が1台と少ない。

4-1-4 青海(須沢)周辺地区

点検ルート



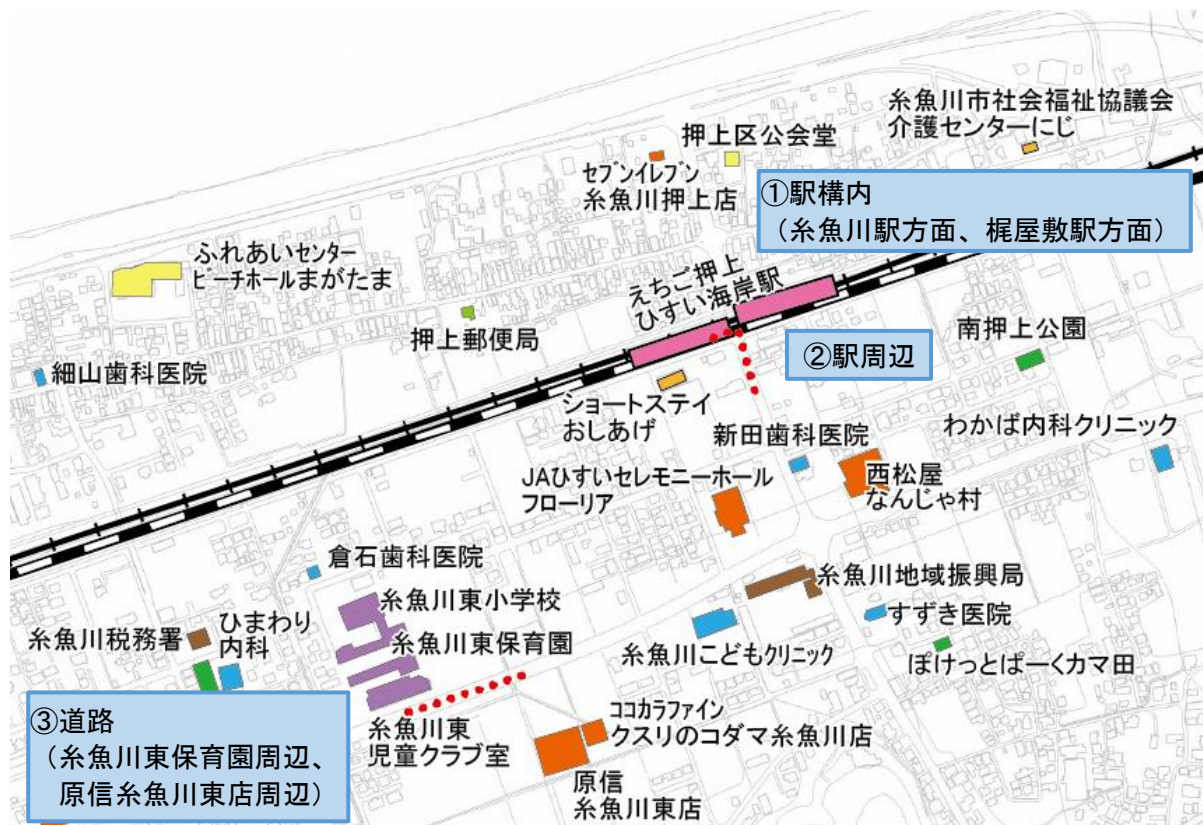
※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■主な指摘事項（調査結果の詳細は資料編に掲載）

①ピアタウン青海～ハッピー田沢店

- ・街路樹の根上がりによる段差が発生している。（歩道）
- ・アタウン青海への誘導起点となる警告ブロックに草が繁殖し、分かりづらい。また、設置場所も本来は歩道側に設置したほうがよい。
- ・歩道に誘導ブロックがない箇所がある。また、交差点の車歩道境界部に、警告ブロックがない箇所がある。
- ・ハッピー田沢店への誘導ブロックがない。また、施設内には、障がい者用駐車施設（思いやり駐車場）があるとよい。
- ・バス停にベンチがあるとよい。

..... 点検ルート



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを設定（市内生活者動線）。

■主な指摘事項（調査結果の詳細は資料編に掲載）

① えちご押上ひすい海岸駅構内

- ・落下する危険性があるので、点字ブロックだけではなく、待合室からプラットフォームへ出た乗車口周辺に、柵をつけてほしい（糸魚川方面・梶屋敷方面）。
- ・駅からトイレまでの経路に点字ブロックがあるとよい（糸魚川方面）。
- ・電車が来た時に音声案内はあるが、聴覚障がい者の方向けに警報ランプのようなものがあるとよい。電光掲示板があればよりよい（糸魚川方面・梶屋敷方面）。
- ・観光案内サインがあるが、点字等がないため、視覚障がい者にはわからない（糸魚川方面）。

② 駅周辺

- ・ガードレールの下に隙間がある箇所がある。子どもが座り後ろに転んだ時に落ちてしまうため、低い柵を設けてほしい。
- ・保育園から駅に向かう道に横断歩道がないため、どこかに1か所設けてほしい。

③ 道路（糸魚川東保育園、原信糸魚川東店）

- ・歩道幅が広いのはよいが、自転車・歩行者通行の区分がされていないために、点字ブロックの両側を自転車が通行し、不安を感じる。
- ・歩道から店舗入口への点字ブロックのつながりがない。また劣化も激しい。

4-2 まち歩き点検の結果を踏まえた今後の課題

まち歩き点検の結果、部分改良（点字ブロックの連続性確保、沿道施設へのアプローチ部分の段差解消など）が必要な箇所が見られるものの、全体としては大きな問題はなく、歩道新設などの大規模な新規ハード事業に対するご意見は少ない結果でした。

一方で、点字ブロックや白線などの点検・早期修繕・安全管理などに対するご意見が多く聞かれるなど、バリアフリー関連施設の維持管理の徹底が課題となっています。

また、糸魚川駅は一定の整備が完了していますが、能生・青海駅についてはバリアフリー化が遅れている印象があります。また、バス車両やバス停へのご意見も聞かれ、官民連携、特に交通事業者の協力は欠かせない状況です。

さらに、移動等に関する事業を実施する際は、計画段階から障がい者の意見反映を行うことや、道路空間の利用マナーの問題、心のバリアフリーの問題などに関するご意見が多く聞かれるなど、ソフト面の取組強化が課題となっています。

まち歩き点検でのご指摘の一例（ハード面）

- 点字ブロックや白線等が劣化して認識しにくい。



- 沿道施設の出入り口等に段差や傾斜が見られる。



- 点字ブロックが不連続で案内が分かりにくい。



- 能生駅や青海駅のバリアフリー化が遅れている。



まち歩き点検でのご指摘の一例（ソフト面）

- 公共事業等を実施する際は、計画段階から障がい者の意見を聞く場を設けてほしい。
- 点字ブロック上に障害物を置かないなど、マナーの徹底で解決できることも多い。

今後の課題

維持管理

- バリアフリー化が完了している区間における点検・早期修繕・安全管理など、バリアフリー関連施設の維持管理が必要です。



部分改修

- 視覚障がい者誘導用ブロックや白線の改修、溜まり空間の平坦性の確保、横断勾配の改良など既存道路の部分改修が必要です。



改良検討

- 市民や民間事業者とともに整備のあり方について協議を行いながら、長期的に、計画的に改良を行うことが必要です。



心のバリアフリー

- バリアフリー化の重要性や高齢者・障がい者、親子連れや外国人等に対する理解を深め、行動につなげる「心のバリアフリー」を進める必要があります。

